



PCO・フリーマインド通心

ペストコントロール事業を通じて
あなた様との良縁を育み、御商売繁盛のお手伝い 平成24年・12月発行



“2013年”を 迎えるに当たり

こんにちは！ 害虫駆除研究家のフリーマインドこと白神です。



いよいよ今年の最後のひと月です。あなた様お変わりございませんか。

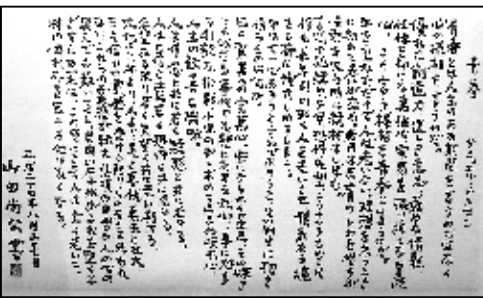
今年50歳を迎えた私は、日本を代表する仏像の彫刻家をお願いして、サミュエル・ウルマンの『青春』の詩を揮毫して頂き、会社のサロンに掲げました。この詩は、ダグラス・マッカーサー元帥が座右の銘にしていたことで日本に広まりました。

『青春』 原作 サミュエル・ウルマン/邦訳 岡田 義夫
『青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相をいうのだ。』……という最初のフレーズで始まるこの詩は、人が何歳になっても「青春」であり続けられる要件を、『優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、容易を振り捨てる冒険心』……を持ち続けることであると述べています。

『齢を重ねても、剛毅な挑戦と、小児の如き探究心・人生への歡喜と興味』……が必要があると語り、そして締めくくりには、
人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる。
人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる。
希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。

……と記し、人が若さを失わない秘訣が謳われています。今年を締めくくり、そして新年を迎えるにあたり、この

『青春』の詩のようにチャレンジしてまいりたいと考えています。



山田尚公先生に書いていただきました！

ケーコ先生とフンコのほのぼの日記

‘私は、貝になりたい!!’の巻

scene 18



今年の晩秋も例年と同じく、愛妻ケーコ先生を同伴して、ハワイ州ワイキキの国際奉仕団体の恒例行事に出席してまいりました。

夫婦が別々の会社を経営していると、一緒の時間も少なく、私にとっては一年に一度の休暇の意味もあり、現地へ迎えて下さる顔馴染みの面々との再会と親睦は、何よりの疲労回復剤になっています。

ケーコ先生「ねえ！私もう少し英会話勉強するわ！」
ワタクシ「なら、我が家の公用語、英語にしたら？」

ケーコ先生「エエッ！！どうして??」
ワタクシ「会話が成り立たんから、僕は助かるわ!!」

ケーコ先生にとって、ハワイから帰国後の気候の大幅な変化はとてま堪えるらしくて、色々私に指示が発せられ、多忙を極めるわけです。(仕事に集中させてくれ～！)

ケーコ先生「ねえ～そろそろストーブ出さない？」
ワタクシ「空焚き後、すぐ使える状態で倉庫にあるよ。」

ケーコ先生「ねえ～ストーブの灯油あったかしら？」
ワタクシ「見てごらん！一本は予備を置いてるよ!!」

挙げ句の果てには……

ケーコ先生「チョット！庭のピオラの苗どうしたん？」
ワタクシ「先月、端境期で花が無いから、今日買った！」

ケーコ先生「うれしいわ！欲しかったのよ！」
ワタクシ「植えてあげるけど、水やりしてよ!!」

毎年々繰り返される、何気ない季節の行事！必要がなくなったら、翌年のことを考えて片付けておけばいいのに、私の作業は、何故か減りません。



ケーコ先生は、きっと今年の大掃除時期も、風邪をひいて寝込み、私が独り言のように「Now! I will clean up!」とふてくされながら一人で掃除する羽目になると思っております。



白神環境衛生消毒

有限会社 白神文化財虫菌害研究所・白神シロアリ技術研究所

〒700-0845 岡山市南区浜野2丁目1-35 オフィスZ内

TEL 086-264-1271 / FAX 086-264-1263

http://www.shiraga.co.jp

白神環境衛生消毒

検索

ブログ随時更新中!



※バックナンバーが必要な方はお申し出下さい!

フリーマインド通心をご愛読いただき誠にありがとうございます。このニュースレターは、弊社で防除施工・管理施工させていただいているあなた様、また私共とご縁をいただいているあなた様にお届けしています。



～番外編・好評第二弾!～
昆虫に由来することわざを、自分の生活に照らし合わせてみると…
何ら昔から変わっていないことに気付かされます。

蓼食う虫も好き好き

(たでくうむしもすきずき)

たで 古い蓼の葉を好んで食べる虫同様、人の好みもさまざまで、理解しがたい多様性をもっているものであることを指すことわざです。

男女のことで、「どうしてこの人が??」と言ったようなカップルが存在しますが、人の好みも様々であります。「蚤(ノミ)の夫婦」という表現は、このことわざとは意味が異なり、ノミはメスの方がオスより明らかに大きいことから、カップルの女性が男性より大柄な様子を表しております。わが家のようにケーコ先生が絶対君主の場合は「尻に敷かれている。」と表現します!



(有)白神環境衛生消毒は、特定非営利活動法人 介護高齢者ドッグセラピー普及協会の活動を支援いたしております。



(有)白神環境衛生消毒は、公益社団法人 認知症の人と家族の会の活動を支援いたしております。

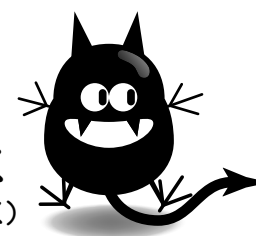


鳴く虫は捕らる

(なくむしはとらる)

秋の夜長、美しい音色で鳴く昆虫たちは、捉えられてかごの虫になるものです。何か特技があるがために、かえって身を誤る事の例えです。

私など母親から「外であったことはちゃんと話すのよ!」と躰けられているため、先日も友人と二次会で美しい女性が勤めている楽しいお店に出かけた話を、ケーコ先生に話してしまい、あれやこれや詮索されて、大変なことになるところでした。正に鳴く虫は捕らるの通りです。



悪い虫がつく

(わるいむしがつく)

としごろの娘に余り好ましくない男が近づき、交際相手となる様を表したことです。

歌は世につれ、世は歌に連れと申しますが、このことわざの意味も、最近では拡大解釈されたり、意味が逆転したり、挙句こう言うことでもあれば良いのにと嘆く親御さんを大勢存じ上げております。

職務上、私など返答に困るのは、「フリーマインドさん!ウチの息子に、悪い虫がつくように消毒してくれないかなあ!」というお母様がおられることです。この場合は息子を溺愛する母親を消毒するのが早いようです。



一寸の虫にも五分の魂

(いっすんのむしにもごぶのたましい)

どんなに小さく弱い者にも、それ相応の意地や根性があるのだから侮ってはいけませんという意味です。

これは家庭内の私の存在にヒツパリのことわざです。大体にして、愛犬クレアとブッチより全てに関してプライオリティーが低いのではないかと疑心暗鬼のワタクシです。「鳴かぬ虫が身を焦がす」のことわざ通り、ケーコ先生に対して「蜂起」する事も無く、あえて何も不平不満を語らず、言わぬが言うに勝るの心境で、只々人生を真実一路歩んで参る所存でございます。

いつも読んで下さっているあなた様!



今年もお世話になりました。新年はお年玉くじ付き年賀はがきでお目にかかります。2013年の「フリーマインド通心」は一月下旬にお手元にお届けいたします。どうぞ健康で楽しい年末、そして新年をお迎えくださいませ!